

## 政策4 安心して暮らせる医療と福祉の充実

### ■女性電話相談事業

……………193万円  
女性が抱えているさまざまな悩みについて電話による相談を行うため、女性電話相談窓口を開設しました。

### ■子育て世代包括支援センター開設事業

……………58万4千円  
妊娠・出産期から18歳までの子育てに関するいろいろな不安や悩み、困りごとなどに対し、きめ細やかな支援を行い、すぐに相談できる体制を構築するために「ハートブリッジ（子育て世代包括支援センター）」を開設しました。

### ■小中学生医療費助成事業

……………9,281万5千円  
子育てにかかる経済的負担を軽減するために、小中学生の医療費を助成しました。

### ■家庭教育支援推進事業

……………375万2千円  
保護者が子育ての不安や悩みを抱えたまま孤立することがないように、地域・学校・行政の連携のもと、家庭教育支援チーム「ヘスティア」による子育てのための講座の開催や家庭訪問を行いました。



## 政策5 確かな学力と生きる力をもった心豊かな子どもの育成

### ■（仮称）橋本市学校給食センター建設事業

……………13億9,147万2千円  
橋本学校給食センターと高野口学校給食センターを統合し、新たな学校給食センターを建設するため、平成29年度に建設工事を行い、今年9月から新しい「橋本市学校給食センター」が稼動しています。



### ■教育福祉連携事業

……………88万7千円  
複雑化する子育て環境に対応するため、福祉部署と教育部署との連携を強化する教育福祉連携推進室を新設し、子ども施策関係部署が連携した取組みを行いました。

### ■放課後健全育成事業

……………1億4,771万9千円  
放課後児童対策として、学童保育所を運営する4団体に対し学童保育運営補助金の交付を行いました。また、学童保育所利用者に対し保育料の助成を行いました。

## 政策6 災害に強い安全・安心の豊かなまちづくり

### ■災害用備蓄品購入事業

……………806万6千円  
市が保有する災害用備蓄品として非常食、備蓄飲料水、衛生用品（トイレ処理セット、手袋、歯ブラシセットなど）を購入し、防災倉庫に格納しました。また、防災用毛布を購入し、拠点避難所に配備しました。

### ■消防団車両更新事業

……………2,450万3千円  
消防団車両を計画的に更新しており、平成29年度では小型動力ポンプ付全自動積載自動車2台、小型動力ポンプ付軽四積載車1台の更新を行いました。

### ■コミュニティバス・デマンド交通運行事業

……………2,558万6千円  
安定したバス運行の継続のため、運行経路を見直し、一部縮小しながら運行を行い、縮小となった区間を補うためにデマンドタクシーを導入しました。



## 平成29年度に実施した主な事業

## 政策1 行財政改革による財政の健全化

### ■ふるさと橋本応援寄附金事業（歳入）

……………1億3,519万2千円  
橋本市への寄附の促進と、地元特産品のPRや販売促進を目的に、寄附受付ホームページを増設し、歳入確保に取り組みました。平成29年度の寄附金額は、平成28年度の1億344万4千円に比べ、約3,200万円の大幅な増加となりました。

### ■道路照明LED化事業

……………654万6千円  
電気代などの費用を抑えるために、市内に設置している道路照明のLED化を進めました。



## 政策2 地域経済の活性化と地場産業の振興、雇用の拡大

### ■広域観光ビジネス共同体（DMO）設立による観光振興事業

……………561万円3千円  
民間事業者が主体となり、より魅力的で価値のある観光地域づくりを進めるため、「一般社団法人高野山麓ツーリズムビューロー」を設立し、近隣の7市町で広域的な観光振興に取り組みました。



### ■（仮称）あやの台北部用地開発事業

……………1億7,122万7千円  
南海電気鉄道株式会社・和歌山県・橋本市の三者が協力し、企業誘致の用地を拡大するために、（仮称）あやの台北部用地の開発を進めています。平成29年度は区域内のボーリング調査や開発に関する詳細設計を行いました。

### ■販路開拓等推進経費

……………993万3千円  
市内企業や農業者に新商品開発のための補助金を交付したり、販路開拓や販売促進のために物産展・展示会へ出展したりするなど、橋本市の特産品を全国へ売り出す取組みを行いました。

## 政策3 農林業の振興と後継者の育成

### ■農産物産地化事業

……………237万1千円  
橋本市の気候や風土にあった新たな農産物の産地化や農産物のブランド化を目指し、市内農家やさまざまな機関と連携し、白ゴマの試験栽培や産地化調査を実施しました。

### ■地域おこし協力隊事業

……………255万1千円  
地方の暮らしに興味のある都市部の住民を地域おこし協力隊員として受け入れ、地場産品の開発や販売などの地域協力活動に従事してもらいました。

### ■農業次世代人材投資事業

……………1,875万円  
農業者になること目指している次世代を担う青年に対し、就農直後の経営確立を支援するため、国の補助事業を活用し、13農業者に対する給付を行いました。

